

## 航空特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問

### 法 規

〔1〕 無線局の免許人は、無線設備の設置場所を変更しようとするときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 あらかじめ総務大臣の許可を受ける。
- 2 あらかじめ総務大臣の指示を受ける。
- 3 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
- 4 変更の期日を総務大臣に届け出る。

〔4〕 無線局の免許人が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに総務大臣が行うことができる処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 再免許の拒否
- 2 電波の型式の制限
- 3 通信の相手方又は通信事項の制限
- 4 無線局の運用の停止

〔2〕 次の記述は、電波の質について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

送信設備に使用する電波の  電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。

- 1 周波数の偏差及び安定度等
- 2 周波数の偏差及び幅、空中線電力の偏差等
- 3 周波数の偏差及び空中線電力の偏差等
- 4 周波数の偏差及び幅、高調波の強度等

〔5〕 総務大臣が無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 無線局が免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用していると認めるとき。
- 2 無線局の発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えていると認めるとき。
- 3 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
- 4 無線局が略語を使用して通信を行っていると認めるとき。

〔3〕 航空特殊無線技士の資格を有する者が、航空機局（航空運送事業の用に供する航空機のものを除く。）の25,010kHz以上の周波数の電波を使用する無線電話の国内通信のための通信操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

- 1 100ワット
- 2 50ワット
- 3 10ワット
- 4 5ワット

〔6〕 無線局の免許人が総務大臣に遅滞なく免許状を返さなければならないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 免許状を汚したために再交付の申請を行い、新たな免許状の交付を受けたとき。
- 2 無線局の運用の停止を命じられたとき。
- 3 電波の発射の停止を命じられたとき。
- 4 免許人が電波法に違反したとき。

# 航空特殊無線技士試験問題

## 法 規

〔7〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
- 2 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、通報の送信後、訂正箇所を通知しなければならない。
- 3 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
- 4 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。

〔8〕 次の記述は、航空機局の運用について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

航空機局の運用は、その航空機の  に限る。ただし、受信装置のみを運用するとき、電波法第52条各号に掲げる通信を行うとき、その他総務省令で定める場合は、この限りでない。

- 1 航行中
- 2 整備中
- 3 離陸時及び着陸時
- 4 航行中及び航行の準備中

〔9〕 無線局が、無線設備の機器の試験又は調整を行うために運用するときに、なるべく使用しなければならないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 水晶発振回路
- 2 高調波除去装置
- 3 擬似空中線回路
- 4 空中線電力の低下装置

〔10〕 無線電話通信において、無線局は、自局に対する呼出しを受信した場合に、呼出局の呼出符号又は呼出名称が不確実であるときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 応答事項のうち相手局の呼出符号又は呼出名称の代わりに「誰かこちらを呼びましたか」を使用して、直ちに応答する。
- 2 応答事項のうち相手局の呼出符号又は呼出名称の代わりに「貴局名は、何ですか」を使用して、直ちに応答する。
- 3 応答事項のうち相手局の呼出符号又は呼出名称を省略して、直ちに応答する。
- 4 呼出局の呼出符号又は呼出名称が確実に判明するまで応答しない。

〔11〕 1 2 1. 5 MHz の周波数の電波を使用することができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 電波の規正に関する通信を行うとき。
- 2 1 2 1. 5 MHz 以外の周波数の電波を使用することができない航空機局と航空局との間に通信を行うとき。
- 3 気象の照会のために航空局と航空機局との間で通信を行うとき。
- 4 時刻の照会のために航空機局相互間において通信を行うとき。

〔12〕 義務航空機局の運用義務時間中の聴守電波の型式はどれか。次のうちから選べ。

- 1 A 1 B
- 2 A 2 D
- 3 A 3 E 又は J 3 E
- 4 A 1 A